

④ 言語・コミュニケーション

具体的な達成目標	支援内容	支援プログラム
<p>自発的な表出やコミュニケーションスキルの発展を図ることとする</p>	<p>始まりの会や終わりの会等で具体的な事物や体験と言葉の意味を結びつけることにより、体系的な言語の習得、自発的な発声を促す支援につなげます</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・はじまりの会で今日の気分・気持ちをプレゼンテーションでの感情表現 言語表出 ・終わりの会で活動振り返りと気持ちをプレゼンテーションでの感情表現 言語表出 ・個別または小集団での障害の特性に応じた読み書き
<p>多様なコミュニケーション方法を獲得することにより、相互理解と表現力の発展を促進こととする</p>	<p>文字・記号、絵カード、機器等のコミュニケーション手段を活用し、コミュニケーション能力の向上のための支援をしていきます</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ルールなどを絵や絵カードを使った視覚支援 ・絵カードを使った言語訓練（読み書き） ・視覚的に「何がどこにあるか」を絵などを使い具体的に表示 ・視覚的に「どこで何をするか」を絵などを使い具体的に表示
<p>児童の健全な愛着関係の構築と感情的な安定性の向上を行うこととする</p>	<p>ウィズ・ユアの共同研究者である愛着障害第一人者の米澤教授に学びキーパーソンの決定や反らし支援の実施などで愛着形成・愛着の修復支援をしていきます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・愛着障害 アプローチ

